

第一日目 5月31日(土) A会場 共北25講義室(定員125名)

8:30 発表登録受付

9:00 A-1 9:20	中国雲南省ナシ族における祖先の想起とインセスト・タブー	岡 晋	総合研究大学院大学／日本 学術振興会特別研究員
9:25 A-2 9:45	告知記事にみる親族関係－マレーシア華人社会における華語 新聞を事例として－	櫻田 涼子	筑波大学大学院人文社会 科学研究科
9:50 A-3 10:10	植民地期朝鮮における早婚の「慣習」について	大石 和世	九州大学人間環境学府
10:15 A-4 10:35	家族を「公開」すること－韓国における国内養子縁組と家族の 変化－	中村 八重	世明大学日本語学科
10:40 A-5 11:00	この世の家とあの世の家の移動－現代沖縄における祖先祭祀 と墓・位牌－	越智 郁乃	広島大学大学院社会科学 研究科
11:05 A-6 11:25	〈沖縄〉の祖先祭祀と「嫁」－諸個人を基点とした新たな研究の 可能性にむけて－	吉田 佳世	首都大学東京大学院
11:30 A-7 11:50	アンデス牧民社会における婚姻関係－ワイリヤワイリヤ共同体 の事例より－	鳥塚 あゆち	東海大学大学院研究生
11:55 A-8 12:15	「母子」から「夫婦と子」へ－パプアニューギニア・アベラム社会 の居住空間の分析から－	新本 万里子	広島大学大学院社会科学 研究科

12:15-13:30 昼食

13:30 A-9 13:50	旧南洋群島における日系人のアソシエーション－パラオサクラ 会を事例として－	飯高 伸五	日本学術振興会／筑波大 学
13:55 A-10 14:15	フィリピンから日本に移動する新たな人々－NGOによる日本へ の就労斡旋－	永田 貴聖	日本学術振興会特別研究 員
14:20 A-11 14:40	滞日スィク教徒の「周縁性」と他者および他文化とのつながり (仮題)	東 聖子	早稲田大学大学院人間科 学研究科
14:45 A-12 15:05	白人・ネイティブ・ハーフの歴史人類学 2－西サモアの脱植民 地化－	山本 真鳥	法政大学経済学部
15:10 17:35	【準備委員会企画 分科会】侵犯する身体・増殖する身体 【代表者】田中 雅一		
A-13	趣旨説明	田中 雅一	京都大学人文科学研究所
A-14	リングとフェティシズム－フェティシズムの植民地主義からの解 放のために－	田辺 明生	京都大学
A-15	皮膚のフェティシズム－17、18世紀のタヒチの世界観とその変 容－	桑原 牧子	金城学院大学
A-16	ドラッグ・クイーンとその身体－合衆国から日本への移転と変容 をめぐって－	佐藤 知久	京都文教大学
A-17	人工身体のエロス	西村 大志	広島国際大学
A-18	拡散するイスラームの聖遺物と聖地	小牧 幸代	高崎経済大学
A-19	増殖するブッダ－韓国仏教の物質化－	岡田 浩樹	神戸大学国際文化学研究 科

第一日目 5月31日(土) B会場 共北26講義室(定員125名)

8:30 発表登録受付

9:00 B-1 9:20	学校教育の中のアイヌ教育－アイヌ教育の教職員用手引きを中心－	品田 早苗	北海道大学大学院国際広報メディア・観光学院
9:25 B-2 9:45	順応的な(?)植民地経験－日本統治下パラオにおける公学校教育と子どもたち－	三田 牧	国立民族学博物館
9:50 B-3 10:10	サーニッチの教育と民族誌的「情報」の伝承について	渥美 一弥	自治医科大学
10:15 B-4 10:35	コーチ養成の民族誌的研究－関東圏の私立大学スポーツ系学部への参与観察から－	ミラー アーロン	東京大学教育学部／オックスフォード大学人類学科
10:40 B-5 11:00	テンプルクロス、カラムカリ制作者の「アーティスト」意識の生成－南インド、シュリー・カラーハスティの事例から－	松村 恵里	金沢大学大学院
11:05 B-6 11:25	協働作品としてのアメリカ先住民族アートショー－公共人類学的実践の一事例として－	伊藤 敦規	東京都立大学大学院
11:30 B-7 11:50	移動する画家－東アフリカ・タンザニアにおける土産物絵画の作り手たち－	井上 真悠子	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
11:55 B-8 12:15			

12:15-13:30 昼食

13:30 B-9 13:50	日常実践の中での「学習」－在日コリアンのシャーマニズムの事例から－	宮下 良子	東洋大学アジア文化研究所
13:55 B-10 14:15	書家のアイデンティティ形成についての考察－日本のプロの「書家」と中国の趣味の「書家」の比較－	大野 加奈子	金城大学
14:20 B-11 14:40	現在日本人女性の言葉使い：忘れられていた高い社会的地位にいる女性の現状－言葉遣いを通じて、現在の働いている日本人女性の理解へ－	デュビュック クロードエヴ	東京大学大学院総合文化研究科
14:45 B-12 15:05	中国の大学生の日常実践にみる政治－広東省広州市の学生の事例から－	大田 千波留	九州大学
15:10 17:35	【分科会】「専門性」とは何か？ 【代表者】浮ヶ谷 幸代		
B-13	趣旨説明	浮ヶ谷 幸代	立教大学
B-14	再構築される医療者の専門知－医学教育における「患者中心の医療」モデルの展開－	星野 晋	山口大学大学院大学院医学系研究科
B-15	問題志向型看護からはみだすソーシャルドラマの演出－北海道浦河赤十字病院精神看護の事例から－	浮ヶ谷 幸代	立教大学
B-16	教師、看護師、カウンセラー？－養護教諭の専門性と身体実践をめぐって－	田口 亜紗	成城大学民俗学研究所
B-17	保健医療制度における「素人の専門知識」－英国保健省の取り組み「Expert Patient Programme」の調査より－	松繁 卓哉	立教大学大学院社会学研究科
B-18	素人の体験知の行方－病いをもつ人々の事例から－	濱 雄亮	慶應義塾大学
B-19	「民俗知」の地平から－宗教的職能者「ユタ」による相談の場を事例として－	村松 彰子	成城大学大学院／日本学術振興会

第一日目 5月31日(土) C会場 共北27講義室(定員125名)

8:30 発表登録受付

9:00 C-1	ベトナム中部高原少数民族のゴング文化ーコントウム周辺の事例からー	柳沢 英輔	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
9:20			
9:25 C-2	音楽の近代化ー変容する知識観・教育観ー	谷 正人	神戸学院大学人文学部
9:45			
9:50 C-3	ノッティングヒル・カーニバルの仮装芸術が表象する「奴隷制」ーイギリス議会における奴隷貿易禁止法成立200周年をめぐってー	木村 葉子	名古屋大学大学院文学研究科
10:10			
10:15 C-4			
10:35			
10:40 C-5	急進化する”アジェッグ・バリ”ーインドネシア・バリ島における文化をめぐる概念の成立とその戦略化ー	伏木 香織	東京芸術大学(非常勤)
11:00			
11:05 C-6	フィリピンの伝統武術「アーニス」の文化的価値の変容に関する考察	大久保 豊	広島大学大学院総合科学研究科
11:25			
11:30 C-7	沖縄伝統芸能「エイサー」から見える「再発見者」とエスニシティの地域性	唐木 健仁	愛知県立大学院国際文化研究科
11:50			
11:55 C-8	イスラーム的歌謡ナシード・ディーニーの展開	青柳 孝洋	岐阜大学
12:15			

12:15-13:30 昼食

13:30 C-9	宗教教育の多様化とイスラーム実践の変容ータイ南部ムスリム村落を事例にー	小河 久志	総合研究大学院大学
13:50			
13:55 C-10	中国のチベット系社会における僧侶教育の再構築ー四川省、Sharkog地方のボン教僧院の事例からー	小西 賢吾	京都大学大学院人間・環境学研究科
14:15			
14:20 C-11	中国新疆ウイグル自治区における双語教育の受容過程ーウルムチ市の学校調査を中心にー	アナトラ グリジャナティ	九州大学大学院
14:40			
14:45 C-12	中国の伝統演劇にみる芸能教育の未来像ー秦腔の俳優教育の「素質」に注目してー	清水 拓野	神戸学院大学非常勤講師
15:05			
15:10	【分科会】「思想としての<アイヌ>」へ		
17:35	【代表者】木名瀬 高嗣		
C-13	趣旨説明	木名瀬 高嗣	法政大学ほか(非常勤講師)
C-14	未来への郷愁ー現代アイヌ史転軸期の思想実践点描ー	木名瀬 高嗣	法政大学ほか(非常勤講師)
C-15	「アイヌ文化振興」という名の救済の後でーあるいは、方法としての佐々木昌雄ー	マーク ウィンチェスター	一橋大学大学院社会学研究科
C-16	過去を叙述する方法ー前近代アイヌ-和人関係史をめぐってー	坂田 美奈子	法政大学非常勤講師
C-17	名の孤独ーバチェラー八重子をめぐってー	丸山 隆司	藤女子大学文学部
C-18	<アイヌなる自分>を生き抜くー二風谷ダム裁判前夜の貝澤正一	新井 かおり	立教大学社会学研究科
C-19	テレビはアイヌをどう描いてきたかーマジョリティが望む民族像ー	長岡 伸一	NHK国際放送局・番組部

第一日目 5月31日(土) D会場 共北28講義室(定員125名)

8:30 発表登録受付

9:00 D-1 9:20	ネパールにおける単身女性の生活戦略－集団としての「寡婦」の形成－	幅崎 麻紀子	北海道大学大学院
9:25 D-2 9:45	女性の労働力と再生産能力の物象化－インド・ラージャスターンの農民女性にとっての「近代化」の経験－	中谷 純江	大阪大学非常勤講師
9:50 D-3 10:10	The Dangerous Brides of the Hakka in Sarawak, Malaysia	Elena Gregoria Chai	Universiti Malaysia Sarawak (UNIMAS)
10:15 D-4 10:35	ジェンダー表象の多様性と儀礼－上ビルマ村落における祖霊祭祀の事例から－	飯國 有佳子	国立民族学博物館外来研究員
10:40 D-5 11:00	性産業に携わる女性たちの表象と行為主体性－在韓米兵相手のフィリピン女性「エンターテイナー」を中心に－	徐 玉子	京都大学大学院人間・環境学研究科
11:05 D-6 11:25	周辺化されたエージェントとしての主体性－在沖米軍人と結婚している沖縄女性を対象として－	エイムズ クリストファー	メリーランド大学アジア分校
11:30 D-7 11:50	女性の国際移動と文化変容－カナダへの日本人女性移住者「新移民」の特色－	山田 千香子	長崎県立大学経済学部
11:55 D-8 12:15			

12:15-13:30 昼食

13:30 D-9 13:50			
13:55 D-10 14:15	商人間の互酬関係を左右するもの－カトマンズの観光市場における宝飾商人の取引を事例に－	渡部 瑞希	一橋大学大学院
14:20 D-11 14:40	伝統的な食品生産・流通と都市の市場(いちば)について－インドネシア・ランブン州における発酵食品タベに関する事例から－	金子 正徳	国立民族学博物館
14:45 D-12 15:05	在来農業の技術的な展開と連動した互助労働の変化－タンザニア南部・ベナの事例から－	近藤 史	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
15:10 17:35	【分科会】 <経済>の生態人類学－「アカウンタブルな社会」のための想像カ－ 【代表者】 松村 圭一郎		
D-13	趣旨説明	松村 圭一郎	京都大学大学院人間・環境学研究科
D-14	「敵」への歓待と贈与－東アフリカ牧畜民の民族境界を越えた友人関係－	佐川 徹	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
D-15	失墜する象徴、変化の語りと他者化の実践－東アフリカ、ウガンダ農村社会における地酒の社会的含意－	白石 壮一郎	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
D-16	「半面」としてのアカウンタビリティー－マラウイ湖漁獲分配における場所の二面性の操作－	中山 節子	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
D-17	路上空間のつくられかた－タンザニア都市路上商人による暴動のアカウンタビリティー	小川 さやか	京都大学大学院文学研究科
D-18	価値秩序のreality/realize－パプアニューギニア、トーライ社会において交換レートを実/演する方法－	深田 淳太郎	日本学術振興会
D-19	死と贈与－臓器提供における聖なるもの－	山崎 吾郎	日本学術振興会

第一日目 5月31日(土) E会場 共北31講義室(定員125名)

8:30 発表登録受付

9:00 E-1	ロシア連邦におけるロシア人サブグループをめぐる昨今の状況 ー民族の境界と「権利」をめぐるー	伊賀上 菜穂	大阪大学
9:20			
9:25 E-2	南東部オーストラリアの土地と河川の共同管理をめぐるヨルタ・ ヨルタの実践	友永 雄吾	総合研究大学院大学
9:45			
9:50 E-3	ニューージーランド先住民マオリとマスメディアーオルタナティブ=メディ アとしてのマオリ=テレビジョンとそのインフラストラクチャーー	伊藤 泰信	北陸先端科学技術大学院 大学
10:10			
10:15 E-4	オルタナティブなマオリ・アイデンティティー都市に生きるティ ンエイジャーの事例からー	深山 直子	日本学術振興会／お茶の 水女子大学
10:35			
10:40 E-5	台湾蘭嶼島の核廃棄物貯蔵場とタウ族の健康被害	中生 勝美	桜美林大学
11:00			
11:05 E-6	〈台湾原住民族〉による土地返還要求のイデオロギー的変遷	石垣 直	日本学術振興会特別研究 員(PD)
11:25			
11:30 E-7	グアムのチャモロ・ナショナリズムにおける「自己決定」と「主権」	長島 怜央	法政大学
11:50			
11:55 E-8	アメリカ先住民の知的財産権議論における法の擬制の問題点	山田 亨	ハワイ大学大学院
12:15			

12:15-13:30 昼食

13:30 E-9	ニューギニア、アンガティヤ社会における森での神秘経験譚 ー接触領域としての「伝統的」生活空間ー	吉田 匡興	
13:50			
13:55 E-10	森に暮らすということーラオス山地民にとっての「森」ー	徳安 祐子	九州大学大学院
14:15			
14:20 E-11	体制移行期の地方社会における放牧地の利用と管理ーポスト 社会主義モンゴル国ボルガン県の事例からー	富田 敬大	立命館大学大学院先端総 合学術研究科
14:40			
14:45 E-12	文化人類学的生業モデルの構築ー極北地域の先住民社会に おける狩猟採集活動を中心にー	岸上 伸啓	国立民族学博物館
15:05			
15:10	【分科会】メタモルフォーシスの人類学		
17:35	【代表者】石井 美保		
E-13	趣旨説明	石井 美保	一橋大学大学院社会学研 究科
E-14	規範的身体への「回復」ーインドにおける身体変容としての不妊 経験ー	松尾 瑞穂	日本学術振興会
E-15	身体・他者・共同性ー「変身」の人類学にむけてー	東 賢太郎	宮崎公立大学
E-16	痙攣する身体から浮遊する主体ー不確かな他者として振舞うた めの技法ー	花淵 馨也	北海道医療大学
E-17	移り身としての夢見ーインドの移動民の夢の語りと自己変容ー	岩谷 彩子	広島大学大学院社会科学 研究科
E-18	老いていく自己と他者ーフィンランド福祉制度における高齢者の 身体変容ー	高橋 絵里香	東京大学

第一日目 5月31日(土) F会場 共北32講義室(定員125名)

8:30 発表登録受付

9:00 F-1 9:20	預言者生誕祭の構造ーザンジバルにおけるマウリディの事例からー	朝田 郁	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
9:25 F-2 9:45	口頭伝承の中で語られる予言者の言葉とその解釈ー南エチオピア牧畜民ボラナの事例よりー	大場 千景	総合研究大学院大学文化科学研究科
9:50 F-3 10:10	高度経済成長期における祭りの変化ー遠州・森の祭りの1945年～1974年を事例としてー	谷部 真吾	名古屋大学グローバルCOE研究員
10:15 F-4 10:35	マナと精霊ー現代メラネシアにおける「超自然的力」の諸相ー	石森 大知	日本学術振興会
10:40 F-5 11:00	客家社会における社会的知識としての風水の生産と消費	小林 宏至	首都大学東京大学院人文科学研究科
11:05 F-6 11:25	選択された神々ーターール沙漠における「トライブ」社会の信仰の「複数性」をめぐってー	小西 公大	東京都立大学大学院／日本学術振興会特別研究員
11:30 F-7 11:50	聖人と殉教者の記憶ー北部ケララ(インド)のムスリムの生におけるジャーラムとナーチャー	川野 美砂子	東海大学
11:55 F-8 12:15	神霊という「仕事」ーインド・ケーララ州における指定カーストの生計活動をめぐってー	竹村 嘉晃	大阪大学大学院人間科学研究科

12:15-13:30 昼食

13:30 F-9 13:50	「忠実なカトリック教徒」の/という人生選択ーマルタにおける性的な葛藤をめぐってー	藤原 久仁子	大阪大学
13:55 F-10 14:15	カンボジア仏教寺院に住まう俗人女性修行者ーライフコースと家族の視点からー	高橋 美和	愛国学園大学人間文化学部
14:20 F-11 14:40	死と儀礼のイノベーションー現代日本における葬儀産業の活動、及び葬儀サービスの浸潤ー	田中 大介	東京大学大学院総合文化研究科
14:45 F-12 15:05	死への対処の変容ーバリ慣習村における遺骨の掘り起こし儀礼、ナンゲンをめぐってー	山本 早良紗	立教大学アジア地域研究所
15:10 17:35	【分科会】 もの、ひと、ことばのネクサス 【代表者】 内山田 康		
F-13	趣旨説明	内山田 康	筑波大学大学院人文社会科学研究所
F-14	芸術作品は視覚言語？ー社会関係的な芸術作品への接近方法ができることー	内山田 康	筑波大学大学院人文社会科学研究所
F-15	人とモノの媒介	足立 明	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
F-16	図像表現を拒んだ文化	川西 宏幸	筑波大学
F-17	前1千年紀古代エジプトの民間信仰ーアコリス遺跡出土のヒトガタ土製品を題材にー	花坂 哲	筑波大学大学院人文社会科学研究所
F-18	有機農業とその実践を取り巻く、ひと、もの、ことばー南インド、ケーララ州ワヤナッド県の事例からー	秋山 晶子	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
F-19	キリバス環礁における<もの>と身体の相互関係	風間 計博	筑波大学大学院人文社会科学研究所

第一日目 5月31日(土) G会場 共北37講義室(定員125名)

8:30 発表登録受付

9:00 G-1	地域の間の人類学者ー地域連携活動とフィールドでの営みをつなげようとするこゝろー	松川 恭子	奈良大学社会学部
9:25 G-2	開発の受容過程における「外国の厳格さ」の実演ーベトナムの農村における回転貯蓄信用講プロジェクトよりー	加藤 敦典	日本学術振興会特別研究員 ／南山大学
9:50 G-3	「社会のため」に生きる僧侶たちー現代タイ社会における僧侶のアイデンティティ模索の過程ー	岡部 真由美	総合研究大学院大学文化科学研究科
10:15 G-4	ハワイ州モロカイ島における「共同体を基盤とした土地利用計画」の軌跡	藤澤 友子	日本文化人類学会
10:40 G-5	タイ山地民定期市の可能性ーアイデンティティの空洞化は超克しうるかー	綾部 真雄	首都大学東京
11:05 G-6	公的空間と私的空間ーモンゴル国・ウランバートル市のゲル地区からー	西垣 有	大阪大学
11:30 G-7	トランスナショナルな社会空間における差異と共同性の生成ーフィリピン・マニラ首都圏の事例からー	関 恒樹	広島大学大学院国際協力研究科
11:55 G-8	公共性と市民社会のアポリアー「ポスト社会主義」期南シベリアに於ける地方行政と社会運動についてー	渡邊 日日	東京大学教養学部

12:15-13:30 昼食

13:30 G-9	自立発展性(sustainability)の条件ーメキシコ農村女性の開発プロジェクト<後>の経験からー	鈴木 紀	国立民族学博物館
13:55 G-10	フィリピン・コ罗纳ダル市におけるマイクロファイナンス・インスティテュートの現状と借り手女性の研究	玉置 真紀子	明治大学大学院政治経済学研究科
14:20 G-11	「楽しみの中」で稼ぐということーザンビア農村女性の経済実践とジェンダーに関する一考察ー	成澤 徳子	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
14:45 G-12	フェミニスト・エスノグラフィーを活用したエンパワーメント評価の可能性ーパラグアイとホンジュラスにおけるプロジェクト評価の事例よりー	藤掛 洋子	東京家政学院大学
15:10	【分科会】 権力のジェンダー化		
17:35	【代表者】 加賀谷 真梨		
G-13	趣旨説明	波平 恵美子	日本文化人類学会
G-14	ジェンダー研究の視角で「親族」を読むーメキシコ先住民農村の事例をもとにー	山本 昭代	慶應義塾大学ほか
G-15	「権力が交差する場」ートランスナショナルな文脈に生きるミステカ出身女性の生殖をめぐる行動を事例にー	浅倉 寛子	メキシコ国立自治大学社会学研究所
G-16	「女性としての価値」をめぐる日常実践の権力ーエジプト人女性ツアーガイドによる移動規範の解釈と実践を事例にー	鳥山 純子	お茶の水女子大学／日本学術振興会特別研究員
G-17	イスラーム言説をめぐるジェンダーと権威・権力ー現代エジプトの女性説法師を事例にしてー	嶺崎 寛子	日本学術振興会特別研究員
G-18	司の継承方法の変化に見てとる交錯する権力	加賀谷 真梨	法政大学非常勤講師
G-19	生殖をめぐるストラテジーとジェンダー研究における文化人類学のストラテジー	波平 恵美子	日本文化人類学会

第一日目 5月31日(土) H会場 共北38講義室(定員125名)

8:30 発表登録受付

9:00 H-1 9:20	シマ空間の身体と人間の安全保障ー太平洋地域を手がかりとした島嶼文化論への試みー	諏訪 淳一郎	弘前大学
9:25 H-2 9:45	歌掛けの技法ー中国貴州省プイ族の歌掛けをめぐるー	梶丸 岳	京都大学
9:50 H-3 10:10	音楽トランスにみられる相互行為ー米国黒人ペンテコステ派教会の事例からー	野澤 豊一	金沢大学大学院
10:15 H-4 10:35	身体的知識としての触覚ーグローバル化の中のタイ・マッサージー	飯田 淳子	川崎医療福祉大学
10:40 H-5 11:00	ラテンアメリカンおよびボールルーム・ダンスの歩行とコネクションーKJ 法と3D動作解析ー	板垣 明美	横浜市立大学
11:05 H-6 11:25	エンブからみたマウマウ戦争ー緊急収容村からの証言よりー	松岡 陽子	名古屋大学
11:30 H-7 11:50	石と弾丸ー村人がマオイストに立ち向かった日ー	安野 早己	山口県立大学
11:55 H-8 12:15	戦世を越えるエスノグラフィー Vol 2 ー沖縄戦・集団自決の死生学ー	山内 健治	明治大学

12:15-13:30 昼食

13:30 H-9 13:50	牧畜民として、ゲリラとして、難民として生きた1970年代ーエチオピア南部の牧畜民ガブラ・ミゴの生存戦術ー	曾我 亨	弘前大学
13:55 H-10 14:15	着物柄にみる戦争ーその後ー	乾 淑子	東海大学
14:20 H-11 14:40	アブラヤシ開発と暴力の日常化ー西スマトラ州カパールにおける共有地返還闘争ー	中島 成久	法政大学国際文化学部
14:45 H-12 15:05	紛争の語りと転換ーパプアニューギニア・クルティ社会の離婚調停を事例にー	馬場 淳	日本学術振興会特別研究員 ／東京外国語大学

第一日目 5月31日(土) I会場 共B03講義室(定員98名)

8:30 発表登録受付

9:00 I-1 9:20	土器生産地にみる工場の運営と地域の論理－東北タイ・ダーンクウィアンの事例から－	中村 真里絵	総合研究大学院大学
9:25 I-2 9:45	イッポンコの研究－奈良県吉野地方の特徴的除草具－	角南 聡一郎	財団法人元興寺文化財研究所
9:50 I-3 10:10	モンゴル牧畜社会における銀製品－家族所有の牧畜財産と個人所有の銀製品－	風戸 真理	京都大学地域研究統合情報センター
10:15 I-4 10:35	東北タイ・北タイの米蒸し調理－モチ米を常食とする背景と調理特性－	小林 正史	北陸学院短期大学
10:40 I-5 11:00	病人食、流動食の国際比較	丸山 道生	東京都保健医療公社大久保病院
11:05 I-6 11:25	現代中国社会における「漢化」	小嶋 祐輔	愛知大学大学院
11:30 I-7 11:50	広東珠江デルタにおける漢族エスニシティの側面－水上人と陸上人の集団的境界をめぐって－	長沼 さやか	総合研究大学院大学文化科学研究科
11:55 I-8 12:15	中国文化大革命期におけるモンゴル人ジェノサイドの実証研究	楊 海英	静岡大学

12:15-13:30 昼食

13:30 I-9 13:50	伝統を維持する産業のメカニズム－バングラデシュの手織物ジャムダニを事例に－	岡田 菜穂子	広島大学
13:55 I-10 14:15	モノの育む芸能－バリ島舞踊劇トペンの仮面に注目して－	吉田 ゆか子	筑波大学大学院人文社会科学研究所
14:20 I-11 14:40	開発をめぐる接触の場としての染織品－インド西部地震後の更紗産地の移転過程－	金谷 美和	日本学術振興会
14:45 I-12 15:05	絨毯に織りなされる社会生活－トルコ南西部ミラスの村落部の事例から－	田村 うらら	京都大学大学院人間・環境学研究科
15:10 17:35	【分科会】映像実践にもとづくフィールドワーク論の構築に向けて 【代表者】川瀬 慈		
I-13	趣旨説明	川瀬 慈	日本学術振興会／京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
I-14	フィールドの映像記録に見る研究者＝《私》の「生態」－カメルーン共和国ドンゴ村における6年間の映像資料の分析から－	大石 高典	京都大学大学院理学研究科
I-15	映像記録は誰のものか!?－映像人類学・民俗学における「還元」という欺瞞－	須藤 義人	沖縄大学人文学部
I-16	－エソロジストの映像実践－生き生きとしたものたちを理解する試み－	島田 将喜	滋賀県立大学人間文化学部
I-17	<私がここにあること>の人類学映画－観察・記録からコミュニケーションの証拠へ－	川瀬 慈	日本学術振興会／京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
I-18	人類学的営みとしての映像実践－映像作品“rhythm”とその批評から－	古川 優貴	一橋大学
I-19	撮影・編集・上映のコミュニケーション－エジプトのスーフィー教団研究と『同居とカメラ』の事例から－	新井一寛	大阪市立大学

第一日目 5月31日(土) J会場 共B02講義室(定員115名)

8:30 発表登録受付

9:00 J-1 9:20	パリのカフェの社会的役割	田村 南欧子	Universite Rene Descartes Paris 5
9:25 J-2 9:45	プロテスタント系キリスト教化に伴う飲酒空間の様相－エチオピア西南部コンタ特別郡の事例から－	山野 香織	京都大学大学院人間・環境学研究科
9:50 J-3 10:10	楽しみとしてのコミュニケーション－ケニアの聾学校の生徒と周囲の人々の交流から－	古川 優貴	一橋大学
10:15 J-4 10:35	非日常生活の中の日常生活－リタイア組のハワイでのロングステイから見えるもの－	千崎 香澄	首都大学東京大学院人文科学研究科
10:40 J-5 11:00	現代日本社会における老人の社会的地位に関する一考察	菅沼 文乃	南山大学大学院人間文化研究科
11:05 J-6 11:25	シマで生きる／老いる－沖縄離島における高齢女性の物語から－	後藤 晴子	九州大学大学院
11:30 J-7 11:50	スリランカの老人ホームにおける食事の布施(ダーナ)をめぐる一考察	中村 沙絵	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
11:55 J-8 12:15	歳を取る「宿命」－ヴァヌアツ・アネイチュム島の老人と社会構築主義再考－	福井 栄二郎	日本学術振興会／国立民族学博物館

12:15-13:30 昼食

13:30 J-9 13:50	「制度」と「身体化」の人類学－イタリアにおける精神医療改革とフランコ・バザーリアー	松嶋 健	京都大学大学院人間・環境学研究科
13:55 J-10 14:15	「治る」とはどういうことか－アトピー性皮膚炎をめぐる「説明モデル」のぶつかり合い－	牛山 美穂	早稲田大学大学院文学研究科
14:20 J-11 14:40	慣習化する診断、供給される薬剤－ガーナ南部におけるヘルスセンターの薬剤化をめぐる－	浜田 明範	一橋大学大学院社会学研究科
14:45 J-12 15:05	生活保護ケースワーカーの仕事(その2)－健康で文化的な最低限度の生活とは－	常数 英昭	早稲田大学文化構想学部 非常勤講師

第一日目 5月31日(土) K会場 共B01講義室(定員70名)

8:30 発表登録受付

9:00 K-1 9:20	テヘランゼルスー共同体におけるコンフリクト、コンフリクトの共同体ー	椿原 敦子	大阪大学大学院人間科学研究科
9:25 K-2 9:45	イスラームの社会的承認と埋め込み	石川 真作	京都文教大学客員研究員
9:50 K-3 10:10	「過去」への触れ方ーハーレムのアフリカ系アメリカ人ムスリムにおける歴史、証言、アーカイヴー	中村 寛	多摩美術大学・造形表現学部
10:15 K-4 10:35	通婚と訪問活動からみた民族間関係ーガボン南部バボンゴ・ピグミーと農耕民マサンゴの事例からー	松浦 直毅	京都大学大学院理学研究科
10:40 K-5 11:00	民族政策と中国朝鮮族の生成ー在中・在満朝鮮人から中国朝鮮族への通時的考察ー	横田 浩一	首都大学東京大学院
11:05 K-6 11:25	タカリーとは誰なのか?ータカリー化、エスニシティの変容と展開ー	森田 剛光	名古屋大学大学院文学研究科
11:30 K-7 11:50	生業におけるベトナム人・クメール人の補完的關係ーPrey Veng 州Peam Chor郡B村の事例からー	松井 生子	広島大学大学院社会科学研究科
11:55 K-8 12:15	異なる規範とパワーの狭間で:ベトナムの土地法実施と人々のプラクティスー北部山岳地帯ホアビンダム湖周辺地域を例としてー	菅原 鈴香	フリーランス開発コンサルタント

12:15-13:30 昼食

13:30 15:05	【映像分科会】 社会変容に関する映像人類学 【代表者】 分藤 大翼		
K-9	趣旨説明	分藤 大翼	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
K-10	ブローザンベジ川氾濫原のロジ生活誌ー(仮)	岡本 雅博	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
K-11	東北タイの漁具トウム・ヤイー失われた遺産と人ター	木口 由香	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
K-12	南東部オーストラリア先住民ヨルタ・ヨルタの今	友永 雄吾	総合研究大学院大学
K-13	森の民の30年ー狩猟採集社会の研究史ー	分藤 大翼	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
15:10 17:35	【映像分科会】 伝統／技術を捉えた映像 【代表者】 パン ジュイン		
K-14	趣旨説明	パン ジュイン	滋賀文化短期大学
K-15	ベトナム中部高原のゴング文化	柳沢 英輔	京都大学大学院アジア・アフリカ地域研究研究科
K-16	翻訳ー酒造における蔵人たちの日常実践ー	岩谷 洋史	立命館大学非常勤講師
K-17	「棟梁」	パン ジュイン・中村 圭	滋賀文化短期大学／同志社大学大学院社会学研究科
K-18	トンパカラマか……タカリーの「伝統」継承者ー	森田 剛光	名古屋大学大学院文学研究科
K-19	映像作品『東北タイの土器生産地にみられる成形技法』	中村 真里絵	総合研究大学院大学